記者発表資料

令和元年１０月２４日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会の審議概要について
（第二部会第２回定例会議）

東北地方整備局入札監視委員会の令和元年度第二部会第２回定例会議が、令和元年９月２０日（金）に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）についてお知らせします。

なお、第二部会第２回定例会議では、委員会が抽出した案件５件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省　東北地方整備局
（第二部会）仙台市青葉区本町３丁目３番１号　　TEL (022)716-0013(ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ)
契 約 管 理 官　山田（やまだ）　賢（まさる）　（内線６２２１）
経理調達課課長補佐　山内（やまうち）　恵（めぐみ）　（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）　審議概要

開催日及び場所	令和元年9月20日（金）　東北地方整備局　会議室		
委員	部会長　我妻　崇【弁護士】 部会長代理　小出　英夫【（学）東北工業大学　工学部　教授】 委員　砂田　洋志【（国）山形大学　人文社会科学部　教授】		
審議対象期間	平成31年4月1日　～　令和元年6月30日 （上記期間に契約締結した案件を審議）		
審議案件	総件数　5件　（別紙－1　審議案件一覧のとおり）		
工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	1件	（備考） ・審議に先立ち、下記(1)～(8)について、報告が行われました。 (1)工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2)指名停止等の運用状況 (3)談合情報等の対応状況 (4)再度入札における一位不動状況 (5)低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 (6)一者応札の発生状況 (7)不調・不落の発生状況 (8)高落札率の発生状況
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	2件	
	工事希望型競争入札	0件	
	指名競争入札	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等		1件	
役務の提供等及び物品の製造等		1件	
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙－2のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はありません。 なお、個別案件において、これまでも応札行動について調査しているが、更なる確認をお願いします。		

別紙―1

審　議　案　件　一　覧

【工事】

入札方式	工　事　名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契　約 締結日	契約の相手方	契　約 金　額 （単位：千円）	落札率 （単位：％）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	久慈港湾口地区防波堤本体工事	港湾土木工事	9者	9者	H31.4.22	東洋建設（株）	743,332	90.11%	釜石港湾

入札方式	工　事　名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契　約 締結日	契約の相手方	契　約 金　額 （単位：千円）	落札率 （単位：％）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	秋田港飯島地区防波堤（北）（改良）消波工事	港湾土木工事	1者	1者	R元.5.27	長田建設（株）	57,240	95.00%	秋田港湾
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	酒田港本港地区防波堤（南）築造工事	港湾土木工事	2者	2者	H31.4.26	（株）みなと	173,250	98.87%	酒田港湾

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業　務　名	業種区分	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契　約 締結日	契約の相手方	契　約 金　額 （単位：千円）	落札率 （単位：％）	備　考
簡易公募型競争入札方式	ＧＰＳ波浪計係留索現況調査	測量・調査	1者	1者	R元.5.20	（株）アーク・ジオ・サポート	32,940	99.81%	仙台港湾空港技術調査

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業　務　名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契　約 締結日	契約の相手方	契　約 金　額 （単位：千円）	落札率 （単位：％）	備　考
一般競争入札方式	港湾業務艇「くろがね」運航及び用船	役務の提供等	1者	1者	H31.4.1	（株）山元	22,056	99.97%	釜石港湾

別紙－２

１．報告	
意見・質問	説明・回答
意見・質問なし	

２．審議	
意見・質問	説明・回答
１　久慈港湾口地区防波堤本体工事	
・本工事の落札者は、隣接の他工事も受注しているようだがよくあることなのか。	・年度当初の発注ということで、各社とも技術者の配置に余裕があると推察される状況の中で、受注意欲も高く多数の案件に参加しているものと考えられ、また同時期発注の隣接する同種工事では、工事費見積も同様となって同じ者が１位となる傾向があるようです。
・７億円以上となる契約である割に、各社の応札額にはそれほど開差がないが、どのように分析しているか。	・積算基準、見積参考資料や各種単価も公表済みであり、過去の同種工事の積算内訳書も公表されていることから、各入札者において精度の高い積算が可能であったと思われ、受注意欲の表れとして、調査基準価格ラインに集中したと推察しています。また、参加各社の応札額の内訳を見ると直接工事費、間接工事費、一般管理費の各経費のそれぞれにおいて開差が見られ、応札各社の考え方が反映されているものと考えられます。
・ＷＴＯ対象案件の工事の中で、基準額未満の契約となっているものもあるが、応札者側にとって契約手続きが簡易になるということはあるか、また応札額への意識は働かないものなのか。	・概算工事費で基準額を超える案件をＷＴＯ対象としていますが、実際の契約金額がＷＴＯ基準額以下となったとしても、契約手続きが変わることはありません。また、入札参加者は、落札を目指して低入札価格調査基準価格に近くなる傾向があることから、ＷＴＯ基準額を下回ることもあると考えております。
・隣接する同種工事では１位が同じになる傾向があるとのことだが、これほど応札額が僅差であるのであれば、業者間の打合せがなければ同じ者が１位となる傾向にはならないのではないか。	・全工事で工事費内訳書に不自然な一致や作為的操作がないことを確認しております。また、このような応札状況では技術評価点の差によって落札者が決まってくるものと考えており、価格競争で不利とならないよう調査基準価格に張り付く傾向となっている本工事には業者間の打合せはないものと考えております。
・隣接の他工事を受注した場合、経費面で有利となることはあるのか。	・本工事と隣接する他工事が、同一受注者になったとしても全く別件工事として管理することになります。
２　秋田港飯島地区防波堤（北）（改良）消波工事	
・落札率９５．００％と切りのいい数値となっているが、何か理由は考えられるか。	・応札額が百万円単位となっており、会社の方針やコスト等から偶然に生じた数値と考えています。
・入札説明書中に契約後ＶＥの試行とあるが、このような工事にも適用されるのか、また本工事ではどのような提案が考えられるか。	・契約後ＶＥの試行は全工事で適用しておりますが、本工事は通常型枠にコンクリートを打設して転置する、という一連の作業工程になりますので、提案できる要素はまずないものと考えられます。
・契約後ＶＥについては、以前から取り組まれているものなのか、また他工事での実績はあるか。	・総合評価落札方式で技術提案が導入される以前から取り組まれており、最近では実績がありません。

・それほど工事難易度も高くなく、参加要件を満たす者が多数いるにも拘わらず、一者しか参加がなかったのはどのような理由からか。	・平成２９年の大規模河川災害に伴う復旧工事により、他工事の発注が後ろ倒しされ、まだその影響が残っているとのことで聞いていますので、技術者がいないものと考えております。
３　酒田港本港地区防波堤（南）築造工事	
・各港でも発注されている標準的な海上工事と考えられるが、別件の同種工事を落札している者が、本工事で予定価格を超過している理由は何か。	・本工事は海上工事であり、作業船の手配に要する費用も別途必要となります。さらに、ブロック据付時期が台風襲来期と重なることから、作業船の待避や拘束等を勘案した結果、応札率が高くなっているものと推察しているところです。また、他工事との関係で配置予定技術者の実績や作業船保有状況から受注意欲の差が表れたものと考えております。
・別件の同種工事に本工事の落札者は参加しているのか。	・参加しております。
・資料１－１記載順では、契約日が前後していいるが、どのような順番か。	・契約管理システムの登録順で発注公告順に記載しておりますが、工事契約については落札決定日の翌日から起算して７営業日以内に契約保証を提出してからの契約締結となるため、落札決定日が同じでも契約日が前後することがあります。
・別件の他工事と本案件では、どちらの落札決定が早いのか。	・本工事は落札決定を保留しているため、別件工事よりもさらに遅くなっております。
・開札後、予定価格超過者がいたため、落札決定を保留したとのことだが、実際どのような調査をしているのか。	・入札参加業者の提出資料を確認するとともに、参加各社のヒアリングを実施して、工事費見積に当たり特別に配慮した事項があったかどうか、費用計上の考え方に違いがないか再確認しております。
・別件の同種工事は調査していないのか。	・全者、予定価格の範囲内であったため、調査対象としませんでした。
・別件の同種工事の入札日と落札決定日はいつか。	・開札日が４月１１日で、落札決定日は翌日の４月１２日となっております。
・別件の同種工事は本工事と同じ入札日だったのか。	・そうです。
・予定価格超過者がいた本案件について調査を行う場合には、同時期発注で別件の同種工事もセットで調査する必要があるかと思うがどうか。	・ご指摘の点につきまして、今後の在り方については、こちらで検討させていただければと思います。なお、本工事と別件工事における参加者の配置予定技術者には工事実績に差があり、技術評価点としては、より同種性の高い実績ほど高評価となることから、参加各社の戦略もある中での応札行動による結果と考えられます。
４　ＧＰＳ波浪計係留索現況調査	
・参加者が一者となった理由は何か。	・本業務は、水深１００m以上の外洋においてＲＯＶを用いた調査を行う特殊な業務です。また、沖合の具体的な現場特性の把握や、厳しい気象海象条件での調査となることから、ＲＯＶの流失などのリスクがあり敬遠したのではないかと推察しています。
・資料をダウンロードした者は何者あったのか。	・入札参加者を含めて９者になります。
・技術的サービスのような業務は、一般論では見積で上下すると思うが、予定価格に近い応札となったのはどのような理由からか。	・ＲＯＶを用いて調査を行う業務には基準がなく実績も少ないため、入札参加者からの見積を活用し、それを加味して積算しているため、そのような推察も働いたのかも知れません。
・高価なＲＯＶを用いる業務のようであるが、保有していない業者でも入札参加してくるものなのか。	・保有していない業者でも借用してきて、業務を履行することは可能です。また、今回の受注者は自社保有しておらず、借用してきて業務履行しております。
・ＲＯＶの保有の有無によって、応札額は変わるものなのか。	・当然そのように考えられますが、自社保有が必ずしも安価ともなりづらく、稼働率によっても変わってくるものと思われます。

・高落札率になったのは、借用であったことも影響していると考えられるのか。	・そのようにも考えられますが、外洋での業務ということもあって、場合によっては流失といったリスクも考慮して、別途保険加入費用を計上していることも考えられます。
・一者応札だけれども何とか契約できたとのスタンスなのか、それとも予定価格の設定が甘かったとの考えはないか。	・適正価格で発注するという観点で、歩掛のない特殊な業務については入札参加者からの参考見積を活用せざるを得ず、予定価格の範囲内であれば妥当と考えております。
・事前に参考見積を依頼するのは一者だけなのか。	・事前には依頼しておらず、入札参加希望者に見積依頼をしております。
・客観性が担保されていない感もあるがどうか。	・入札参加者は、他の参加希望者の有無は知り得ませんので、自社の見積がそのまま積算金額に反映されたかどうかはわかりません。
5　港湾業務艇「くろがね」運航及び用船	
・契約内容は、港湾業務艇の運航と、港湾業務艇の定期修理期間中の用船か。	・そうです。
・前の期間の契約と今回の落札者は同じなのか。	・そうです。
・毎年度発注している案件なのか。	・そうです。
・落札率が高くなる要因としては、自然な状況とも考えられるがどうか。	・業者は年間を通して稼働できるよう、船員や用船船舶の確保が必要となるため、費用が嵩むことから予定価格上限を推測した上で入札してると考えられます。
・支払年間総額としては、一日当たりの単価に日数を乗じて算定をするのか。	・そうです。年間２００日位の稼働になりますが、単価を乗じると年間２千２百万円程になります。